

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	研究ゼミナールB（Seminar of Study B）		
ナンバリングコード	L31205	大分類 / 難易度 科目分野	建築学科 専門科目 / 応用レベル 研究・資格・インターンシップ
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択		
	※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	L120555	クラス名	西村研究室
担当教員名	西村 謙司		
履修上の注意、 履修条件	数週に1回の割合で、建築作品の分析発表が求められます。 将来、何を自分の職務とするか、自身の人生の目標を見定めながら研究室を選択し、それぞれの課題に取り組んでください。		
教科書	なし		
参考文献及び指定図書	磯崎新:『磯崎新建築論集』、岩波書店		
関連科目	専門分野に関連する全科目		

○基本情報		
授業の目的	研究ゼミナールでは、自分のもっとも興味のある建築分野を研究している研究室に所属し、その指導教員のもとで、卒業研究につながる基礎的な学習や卒業研究を作成するために必要な技術を修得します。 例えば、卒業研究につながる調査や見学、文献やビデオ教材、CADソフト等による専門分野の学習、作品制作や実験あるいはそれらのための様々な準備、資格取得のための勉強会など、指導教員により指導内容は異なります。各指導教員のもとで各自がそれぞれのテーマを設定し、上級生である卒業研究生や大学院生らと協力して自主的に研究活動を行ってください。 また、各指導教員と親密に接触できる絶好のチャンスでもあります。それぞれの専門分野に対する理解を深めるためにも積極的に取り組むことが大切です。	
	優れた建築作品の作品分析を行い、それに対する検討を参加者で行います。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	建築作品の分析を意欲的に行う。 発表された作品分析の解釈を積極的に試みる。			40点
【知識・理解】	建築家の図面解釈と言説解釈ができる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	建築作品の分析を適切に絵と図と言葉でプレゼンテーションできる。また、質疑応答に適切に対応できる。		20点	
【思考・判断・創造】	社会的に認められる研究姿勢の訓練。 実践的な建築設計活動を学ぶ。		20点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
決められた発表課題の準備を適切に行い、その内容を明確にプレゼンテーションする。 プレゼンテーションされた成果物と発表姿勢を総合的に評価します。 分析に対して積極的に質疑を行う。 [Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を特別優れて満たしている。 [Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を優れて満たしている。 [Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を良く満たしている。 [Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。				

○その他
フィードバックは、適宜行います。

